



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 ワタベウェディング株式会社  
 コード番号 4696 URL <http://www.watabe-wedding.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員  
 問合せ先責任者 (役職名) グループ管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月3日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 花房 伸晃  
 (氏名) 平木 親臣

TEL 075-778-4111

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	11,086	△2.3	289	—	23	△83.6	12	—
28年3月期第1四半期	11,346	2.0	9	—	140	—	△28	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △414百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △21百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	1.23	—
28年3月期第1四半期	△2.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	18,956	9,892	51.9
28年3月期	20,811	10,342	49.5

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 9,829百万円 28年3月期 10,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

注) 平成29年3月期の第2四半期末及び期末配当予想額は未定としております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	44,500	1.4	300	104.1	300	44.0	100	112.8	10.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

なお、当ブライダル業界は婚礼の施行時期に季節的変動があり、当社は業績管理を年次で行っていることから、第2四半期連結累計期間については業績予想の開示を行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	9,909,400 株	28年3月期	9,909,400 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	326 株	28年3月期	326 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	9,909,074 株	28年3月期1Q	9,909,074 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営成績について、「リゾート挙式」におきましては、個性化・多様化するお客様のニーズに応えるべく、商品施策としては、吉川ひなのさんプロデュースのウェディングドレス「alohina moe」の新作を発表し、また、近藤千尋さんによるハワイウェディングイベントを開催する等プロモーション強化に取り組んでまいりました。しかしながら、競争環境激化に伴う価格競争が熾烈化していることもあり、前年同四半期比で挙式取扱組数が減少し、リゾート挙式事業は減収増益となりました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、目黒雅叙園では主力である婚礼事業の強化に加え、創業88年記念特別企画の販売により一般宴会等の顧客の拡大に注力してまいりました。また、メルパルクにおいては、熊本地震の影響等により前年同四半期比で挙式取扱組数は減少したものの、一般宴会や宿泊部門が好調に推移したことにより、減収増益となりました。

以上の結果、当社グループの業績は、売上高11,086百万円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益289百万円（前年同四半期 営業利益9百万円）、経常利益23百万円（前年同四半期比83.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益12百万円（前年同四半期 親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

## ① リゾート挙式

挙式取扱組数が減少し、売上高は4,567百万円（前年同四半期比1.6%減）となり、挙式運営コストや販売管理費の低減を進めた結果、セグメント損失は39百万円（前年同四半期 セグメント損失117百万円）となりました。

## ② ホテル・国内挙式

挙式取扱組数は減少したものの、一般宴会及び宿泊事業等が好調に推移し、売上高は6,518百万円（前年同四半期比2.7%減）となり、セグメント利益は265百万円（前年同四半期比110.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,171百万円減少し、8,158百万円となりました。これは主に短期借入金の返済により現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ683百万円減少し、10,798百万円となりました。これは主に建物及び構築物が減少したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ1,854百万円減少し、18,956百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,535百万円減少し、6,840百万円となりました。これは主に短期借入金の減少によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ130百万円増加し、2,222百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,404百万円減少し、9,063百万円となりました。

純資産残高は前連結会計年度末に比べ449百万円減少し、9,892百万円となりました。これは為替換算調整勘定や繰延ヘッジ損益の減少等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成28年5月11日発表の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,311	3,993
売掛金	1,636	1,719
商品及び製品	244	244
仕掛品	15	14
原材料及び貯蔵品	463	417
その他	1,691	1,801
貸倒引当金	△33	△32
流動資産合計	9,329	8,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,990	3,648
土地	2,023	1,918
その他(純額)	1,196	1,142
有形固定資産合計	7,210	6,709
無形固定資産	573	580
投資その他の資産		
差入保証金	2,669	2,655
その他	1,031	856
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,697	3,508
固定資産合計	11,481	10,798
資産合計	20,811	18,956
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,433	1,347
短期借入金	933	225
前受金	2,208	2,290
賞与引当金	508	261
その他	3,292	2,716
流動負債合計	8,376	6,840
固定負債		
長期借入金	125	125
退職給付に係る負債	1,011	1,034
資産除去債務	586	564
その他	368	498
固定負債合計	2,091	2,222
負債合計	10,468	9,063

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	2,504	2,467
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,718	10,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	55
繰延ヘッジ損益	△260	△433
土地再評価差額金	△903	△903
為替換算調整勘定	655	415
退職給付に係る調整累計額	14	14
その他の包括利益累計額合計	△425	△852
非支配株主持分	49	63
純資産合計	10,342	9,892
負債純資産合計	20,811	18,956

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	11,346	11,086
売上原価	4,031	3,685
売上総利益	7,314	7,400
販売費及び一般管理費	7,305	7,111
営業利益	9	289
営業外収益		
為替差益	106	—
その他	34	25
営業外収益合計	140	25
営業外費用		
為替差損	—	282
その他	9	8
営業外費用合計	9	291
経常利益	140	23
特別利益		
固定資産売却益	—	41
関係会社株式売却益	—	60
特別利益合計	—	102
特別損失		
固定資産除売却損	—	34
施設店舗整理損	—	35
その他	—	2
特別損失合計	—	72
税金等調整前四半期純利益	140	53
法人税等	165	37
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24	16
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28	12



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24	16
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△13
繰延ヘッジ損益	△40	△173
為替換算調整勘定	41	△240
退職給付に係る調整額	△4	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△3
その他の包括利益合計	2	△430
四半期包括利益	△21	△414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26	△414
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	4,643	6,702	11,346	—	11,346
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,636	39	1,676	△1,676	—
計	6,280	6,742	13,022	△1,676	11,346
セグメント利益又は損失 (△)	△117	126	8	0	9

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	4,567	6,518	11,086	—	11,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,524	40	1,565	△1,565	—
計	6,092	6,559	12,652	△1,565	11,086
セグメント利益又は損失 (△)	△39	265	225	63	289

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額63百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。